

2023_1129「竹林の中の小川（写真）」日々の理科 3401号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

水生昆虫の観察会をした蛭川（ひるかわ）の少し下流を見ると、実に竹林の中を流れています。しかも大変な密集度の竹林で、私はこんな風景を初めて見ました。恐らく川底の更に下を、竹の地下茎がくぐって、左右の竹林がつながっているのでしょう。

竹の種類は「マタケ（真竹）」でした。これほど密集していると、ヒトが内部に入ることはできません。近くには手入れの良い竹林もあったのですが、恐らくしばらく手入れをしないうちにどんどん密集して、ついに立ち入ることも不可能になったのでしょう。

キノコの仲間には「キヌガサタケ」「オニフスベ」など、竹林でよく見られる種類もあるので、次回は夏か秋に立ち寄ってみたいと思いました。

（2023年11月下旬／長野市松代町蛭川）

